

令和6年度シラバス

Ⅱコース3年（理系）

日本大学東北高等学校

目 次

学校シラバス	…	1	
Ⅱコース3学年教育活動シラバス	…	2	4
論理国語	…	5	8
古典探究	…	9	11
地理探究	…	12	14
数学Ⅲ	…	15	17
数学C	…	18	20
物理	…	21	23
化学	…	24	27
生物	…	28	30
体育	…	31	34
英語コミュニケーションⅢ	…	35	39
論理表現Ⅲ	…	40	45
情報Ⅰ	…	46	48
総合的な探究の時間	…	49	51

学校シラバス

校訓

- 1 忠恕の心：まごころを持って相手の心をおもいやること。
- 2 自主創造：自主的に学び、考え、広く世界的な視野を持つと共に、新しい自分、心豊かな自分を創造すること。
- 3 真剣力行：強い意志を持ち、目的に向かって全力を尽くすこと。

本年度の努力目標

1. 奉仕と思いやりの心を持つ 2. 新校舎を大切に学ぼう 3. 自ら学び、考え、道をひらこう

取り組み項目	具体的な内容
キャリア教育、教科指導を計画的に推進し、学力の定着と向上を図り、生徒の進路目標を達成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 シラバスを作成し、生徒・保護者へ提示する。 2 進路ガイダンス等の各種説明会を通じて進路情報を提示し、幅広いキャリアビジョンと確かな学力を身に付けた上で進路を決定する意識を構築する。 3 卒業前の3年生に、学外からの出前講座、教員による校内講座を行い、幅広い教養を身に付ける。 4 日本大学工学部との高大連携事業を展開する。
国際理解教育を推進し、グローバル化社会に対応できる力を身に付ける。	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネイティブ教員によるTT授業で、英語の4技能の育成を図る。 2 課外講座で、英会話講座を実施して語学力の育成を図る。 3 語学力育成とともに国際理解を深めることを目的に、ケンブリッジ大学研修を実施する。
自主的・主体的な学習への取り組みを通して、社会に貢献できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 自学室・自習室・サポート室を活用し、生徒が自ら学ぶ姿勢を育成する。 2 ICTを利用したアクティブ・ラーニング授業を実践する。 3 基礎学力到達度テスト対策に、春期特別指導を実施する。 4 大学進学に向けて、各種模擬試験の活用と夏期進学補習の充実を図る。 5 図書館を利用して、生徒が自ら問題解決の糸口を見つけ出す姿勢を育成する。
学校行事や課外活動を通して、人間的成長を促し、円満な人格形成を図る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 修学旅行を通して、団体行動や平和について学習する。 2 部活動を通して、心身を鍛え自主性や協調性を育成する。 3 文化祭などの学校行事を通して、自主性や創造性、協働性を身に付けるとともに、仲間との達成感を共有する。 4 芸術鑑賞会を通して、広く芸術に触れ、親しむ心を育成する。 5 身だしなみ向上週間の活動を通じて、自律心を育成する。
学校の安全管理を徹底するとともに、安全教育を推進する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校安全計画、防災マニュアル（安全管理マニュアル・衛生管理マニュアル・防火管理マニュアル）を実践する。 2 火災や地震を想定した避難訓練、および救急救命講習会や避難器具使用講習会等を実施する。 3 地歴公民や保健体育の授業、ホームルーム活動を通じて、安全や健康について学習する。 4 交通安全教室、スマホ安全教室等を実施し、生徒の危機管理意識を育成する。

◇年間行事計画

Ⅱコース3学年

	指導内容・行事	指導のねらい
4月	二者面談	・生徒間、教員との信頼関係の構築
	基礎学力到達度テスト	・基礎学力の定着、自己分析
	進路希望調査	・自己理解と目標設定
	登校指導	・基本的な生活習慣の確立
	シェイクアウト訓練	・危機管理意識の醸成
	ベネッセ総合学力テスト	・志望校までの距離を知る ・学習活動の振り返りと学習課題の設定
	学級懇談会	・教員—保護者の信頼関係の構築
5月	校内体育大会	・健やかな心身の育成 ・良好な人間関係の構築
	保護者参観授業	・保護者への情報公開 ・家庭との連携強化
	身だしなみ向上週間	・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	1学期中間試験	・計画的学習習慣の確立 ・既習事項の定着度の測定
	英検	・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
6月	ベネッセ共通テスト模試	・基礎学力の定着度を測る ・弱点、苦手分野の把握 ・学習計画の立案、課題の設定
	身だしなみ向上週間	・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	文化講演会	・豊かな感性の育成 ・広い視野の獲得
	数検、漢検	・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
	1学期期末試験	・計画的学習習慣の確立 ・既習事項の定着度の測定
7月	アカシヤ祭	・自己理解を深める ・創造力、表現力の伸長 ・他者と協働する力を育む
	ベネッセ総合学力テスト	・志望校までの距離を知る ・学習活動の振り返りと学習課題の設定
	進学説明会	・入試に関する情報の収集 ・受験に向けての意識高揚
	芸術鑑賞会	・文化、芸術への造詣を深める

	三者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携 ・信頼関係の構築 ・現状の理解と目標の設定
	夏期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・学習習慣の確立
	勉強会	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考力の伸長 ・既習事項の理解を深める ・学年を越えた交友関係の構築
8月	夏期進学特別補習	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・弱点、苦手分野の克服
	全統共通テスト模試	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた課題設定 ・志望校検討と合格への課題設定
	小論文模試	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力、読解力、文章を書く力の伸長
	全統記述模試	<ul style="list-style-type: none"> ・応用力、実践力の測定 ・記述力を高める
	夏期進学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の伸長 ・学習習慣の確立
9月	進路希望調査	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望の確認
	服装頭髪指導	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高める
	ベネッセ駿台共通テスト模試	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた課題設定 ・志望校検討と合格への課題設定
	保護者参観授業	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への情報公開 ・家庭との連携強化
	基礎学力到達度テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着、自己分析
10月	校内体育大会（運動会）	<ul style="list-style-type: none"> ・健やかな心身の育成 ・良好な人間関係の構築
	2学期中間試験	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、計画的学習への取り組み ・学習活動の成果を測る
	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	ベネッセ駿台記述模試	<ul style="list-style-type: none"> ・応用力、実践力を測る ・記述力を高める
	英検、漢検	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・資格取得によるキャリアアップ
11月	ベネッセ駿台共通テスト模試	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた課題設定 ・志望校検討と合格への課題設定
	身だしなみ向上週間	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の高揚 ・自己管理能力の育成
	二者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・志望校の検討 ・志望校合格への課題設定
12月	2学期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的、計画的学習への取り組み ・学習活動の成果を測る

	校内大学入学共通テストプレ	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた実践演習 ・志望校合格への課題設定
	特別授業	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストに向けた実践演習 ・志望校合格に向けた実践演習
	出願校検討	<ul style="list-style-type: none"> ・志望校の検討 ・志望校合格への課題設定
	冬期進学特別補習	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト（入試）に向けた総仕上げ
1月	大学入学共通テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の集大成！
	三者面談	<ul style="list-style-type: none"> ・出願校の検討および決定
2月	個別試験対策特別講座	<ul style="list-style-type: none"> ・私大入試、国公立大2次試験に向け学力を高める。
3月	卒業証書授与式	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の振り返り ・これからの目標の確認

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
論理国語	2	3	理系

教科書名 論理国語 (数研出版)

副教材名 三訂版 大学入学共通テスト演習 現代文 (いいずな書店)

現代文長文記述問題集3 入試必修編 改訂版 (いいずな書店)

共通テスト集中演習実用的文章 (桐原書店)

現代語練習帳 ことのは (いいずな書店)

1 科目目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	(1)ガイダンス ①授業の進め方 ②週課題, 小テスト	(1) ①予習・復習の仕方や授業の基本的な進め方について理解する。 ②週課題や小テストの内容や提出方法について理解する。
	5	(2)教科書 (3)共通テスト対策演習 【1学期中間試験】	(2) ①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など, 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ②文章の内容を踏まえて考えたことを具体例や根拠を明示して話し合う。 (3)共通テストの出題形式や出題内容について, 問題集や過去問を通じて演習を行い, 理解を深める。

	6	(1)教科書 (2)共通テスト対策演習	(1) ①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ②文章の内容を踏まえて考えたことを具体例や根拠を明示して話し合う。 (2)共通テストの出題形式や出題内容について，問題集や過去問を通じて演習を行い，理解を深める。
	7	【1学期期末試験】	
	【課題・提出物】授業ノート・週課題等		
	【1学期の評価方法】 定期試験の素点平均×70%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×30%		
2 学 期	月	学習内容	学習のねらい
	9	(1)教科書 (2)共通テスト対策演習	(1) ①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ②文章の内容を踏まえて考えたことを具体例や根拠を明示して話し合う。 (2)共通テストの出題形式や出題内容について，問題集や過去問を通じて演習を行い，理解を深める。
	10	【2学期中間試験】	

		(1)教科書	(1) ①文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ②文章の内容を踏まえて考えたことを具体例や根拠を明示して話し合う。
	11	(2)共通テスト対策演習	(2)共通テストの出題形式や出題内容について、問題集や過去問を通じて演習を行い、理解を深める。
	12	【2学期期末試験】	
【課題・提出物】授業ノート・週課題等			
【2学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%			
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	(1)共通テスト対策演習	(1)共通テストの出題形式や出題内容について、問題集や過去問を通じて演習を行い、理解を深める。
	2	(2)国公立二次試験対策演習	(2)国公立二次試験に向けた対策を行う。
	3		
【課題・提出物】授業ノート・週課題等			
【3学期の評価方法】 定期試験の素点平均×80%+平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%			
【年間の学習状況の評価方法】 年間の定期試験の素点平均×80%+年間の平常点(授業態度・提出物・小テスト等)×20%			

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	定期試験・小テスト・提出物
思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	授業態度・定期試験・発表・提出物
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	授業態度・小テスト・発表・提出物

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

予習・復習を前提として授業を行います。語句の意味調べや段落分け等を各自で行い、授業に臨んでください。

論理的な文章においては、文章構造に着目し、文や段落相互の関係を正しく理解することを心掛けましょう。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
古典探究	2	3	II コース理系

教科書名 高等学校 古典探究 (数研出版)

副教材名 新明説総合古典文法 (尚文出版)

解法古文単語 350 (数研出版)

共通テスト+センター試験 (尚文出版)

古文攻略マストアイテム 76 (桐原書店)

精選漢文 (尚文出版)

読解トレーニング 古典 (進研)

1. 科目目標

1・2年生の段階で身に付けた読解のための基礎力を基に、演習を繰り返すことで大学入学共通テストおよび2次試験・私大入試に対応した実践力を身につける。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 ～ 7	1. 【古文】(教科書) 2. 【漢文】(教科書) 3. 「大学入学共通テスト準備演習」 4. 模試事前指導および解説 ● 《実践力の養成(1)》 ◆ 模試事前指導および解説 ◆ 基本事項の再確認 【定期試験】 ① 古語単語・漢文語彙 ② 文語文法に関する知識 ③ 漢文句形や文構造に関する知識 ④ 読解問題	【古文】 [目標] 基本的文法事項の確認や読解の基本を再確認する。 [内容] ① 主な助動詞・助詞の用法を軸に基本的文法事項を整理する。 ② 文章を正確に読解し、登場人物の人物像や心情を読み取る。 【漢文】 [目標] 基本的句法の確認や読解の基本を再確認する。 [内容] ① 主な句形や漢文の読み方を再確認する。 ② 文章を正確に読解し、登場人物の人物像や心情を読み取る。
		【課題・提出物】 適宜提出物を課す。	
		【第1学期の評価方法】 定期テストの平均点×70%+平常点(授業態度・提出物)30%	

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9 ～ 10	1. 【古文】【漢文】《演習》 「共通テスト国語対策問題集」を利用 ● 《実践力の養成（2）》 ◆ 模試事前指導および解説 ◆ 基本事項の再確認 【定期試験】 ① 古語単語・漢文語彙 ② 文語文法に関する知識 ③ 漢文句形や文構造に関する知識 ④ 読解問題	【古文】 〔目標〕 様々な古文に触れ、基本的文法事項の復習と並行して大学入学共通テスト・2次試験に対応できる読解力を身につける。 〔内容〕 ① 主な助動詞・助詞の用法を軸に基本的文法事項を整理する。 ② 文章を正確に読解し、登場人物の人物像や心情を読み取る。 【漢文】 〔目標〕 様々な漢文に触れ、基本的文法事項の復習と並行して大学入学共通テスト・2次試験に対応できる読解力を身につける。 〔内容〕 ① 主な句形や漢文の読み方を再確認する。 ② 文章を正確に読解し、登場人物の人物像や心情を読み取る。
	10 ～ 12		
		【課題・提出物】	適宜課題を課す。
		【第2学期の評価方法】	定期テストの平均点×80%+平常点 20%
3 学 期	1	【大学入学共通テストまで】 《演習》「共通テスト国語対策問題集」を利用	【古文】 〔目標〕 問題演習を通じて実践力の養成を図る。 〔内容〕 二次試験や私大入試に向けた演習と解説を授業とする。 【漢文】 〔目標〕 問題演習を通じて実践力の養成を図る。 〔内容〕 二次試験や私大入試に向けた演習と解説を授業とする。
	2	【大学入学共通テスト後】 《演習》過去問などを適宜使用	
		【課題・提出物】	適宜提出物を課す
		【第3学期の評価方法】	定期テストの平均点×80%+平常点(授業態度・提出物)20%
	【年間の学習状況の評価方法】 提出物の提出状況、授業態度などによる自学自習習慣		

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている	定期試験・小テスト・提出物
思考・判断・表現	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。 身に付けた知識を的確に使用し、現代語で表現できる。	授業態度・定期試験・発表・提出物
主体的に学習に取り組む態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	授業態度・小テスト・発表・提出物

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

古典学習ではまずは知識の習得が大切です。古語単語・古典文法(助詞、助動詞)・漢文句形・漢文の語彙・漢文の文型などをしっかりと身につけてください。その上で、演習問題などを通して文脈を把握し、設問に応じて解答する技能を身につけてほしいと思います。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
地理探究	3	3 学年	II コース理系

教科書名 新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）
副教材名 新詳地理資料 COMPLETE 2023（帝国書院）
ウイニングコンパス 地理の整理と演習（とうほう）

1. 科目目標

地理総合よりもさらに実践的に、地域の環境や国家間の結びつきから社会の事象を考察し、地図や地理情報システムを用いながら、グローバル化する国際社会で主体的に生きることができる資質や能力を身につける。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	00 ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・国境の種類，国家の領域，国家の主権について理解する。 ・国際関係と紛争の変化，国連が果たす役割，経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結びつきについて，多面的・多角的に考察し，表現する。 ・気候が生活に与える影響，気温のしくみと分布の特徴，降水のしくみと分布の特徴について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。 ・農業の発展と生産性，農業の近代化とその課題，工業の発達と生活の変化，工業地域の地域差について理解する。 ・暮らしを支える貿易，貿易の変化と国際分業の成立，自由化する世界の貿易について，多面的・多角的に考察し，表現する。 ・通信技術の発達と一体化する世界，情報通信技術の発達で変化する生活行動，情報通信技術が生み出す格差について理解する。
		01 地形図読図の基本	
	02 現代世界の国家①		
	5	03 現代世界の国家②	
		04 国家間の結びつき	
		05 世界の気温と降水量	
	6	06 世界の風と大気大循環	
		07 世界の気候区分	
		08 世界の植生と土壌	
		1 学期中間試験	
	7	09 人々の生活を支える農業の発展①	
		10 人々の生活を支える農業の発展②	
		11 水産業と林業	
		12 人々の生活を支える工業の発展①	
		13 人々の生活を支える工業の発展②	
		14 貿易によって結びつく世界	
		15 日本の貿易	
		16 さまざま交通網の発達	
17 世界を結ぶ通信網の発達			
18 村落の立地と人々の生活			
	1 学期期末試験		
	特指		
	進研模試・全統模試予習・復習演習		

【課題・提出物】 ・授業プリントの点検		
【第1学期の評価方法】 ① 定期試験の成績 知識・理解の確認のほか、思考力・表現力を問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点 授業時の学習過程で、観点別評価内容の3項目について評価する。 (30%以内) また、授業プリントの状況なども評価する。		
月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	<p>教科書終了後、大学入学共通テスト過去問題集を利用した演習授業</p> <p>A. 地図・地理情報 B. 地 形 C. 気候・水 D. 環境問題 E. 農林水産業 F. 鉱工業 G. 消費・観光・世界遺産 H. 交通・通信・貿易 I. 人口・人口問題 J. 村落・都市 K. 生活文化・民族・宗教 L. 国家・領域・国家群</p> <p>2 学期中間試験</p> <p>M. 日 本 N. 東アジア O. 東南アジア P. 南アジア Q. 中央アジア・西アジア・アフリカ R. ヨーロッパ・ロシア S. アングロアメリカ T. ラテンアメリカ U. オセアニア V. 極地方 W. 比較地誌 X. 地形図の読図</p> <p>2 学期期末試験</p> <p>特指 進研模試・全統模試予習・復習演習</p>	<p>・大学入学共通テストに向けた演習を行い、問題を解く力をつける。</p>

	【課題・提出物】 ・授業プリント，ワークブックの点検		
	【第2学期の評価方法】 ① 定期試験の成績 知識・理解の確認のほか，思考力・表現力を問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点 授業時の学習過程で，観点別評価内容の3項目について評価する。 (20%以内) また，授業プリント・ワークブックの状況なども評価する。		
	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	国公立2次試験・ 私立大学入試対策演習	私立大学・国公立2次試験の受験科目に地理がある場合，その傾向にあわせた対策を行う。
	【課題・提出物】 ・授業プリント，ワークブックの点検		
	【第3学期の評価方法】 ・授業プリント，ワークブックの状況などを評価する。		
	【年間の学習状況の評価方法】 ① 定期試験の成績 知識・理解の確認のほか，思考力・表現力を問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点 授業時の学習過程で，観点別評価内容の3項目について評価する。 (20%以内) また，授業プリント・ワークブックの状況なども評価する。		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	世界の生活文化の多様性や防災，地域や地球的課題への取組などの理解，地理に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能，など。	・授業の様子 ・授業プリント ・定期テスト
思考・判断・表現	地理に関わる諸事象等の意味や意義、特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力，など。	・授業の様子 ・授業プリント ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度，など	・授業の様子 ・授業プリント ・探求レポート

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

地理の授業は自分の視野を広げることが目的です。まずは興味のある分野（スポーツ・音楽・食・ファッション・観光など）を通じて，世界のさまざまな文化や人々の生活に接してみてください。さらに，新聞やニュースなどから現代社会の諸問題にも関心を持ってほしいと思います。

地理に興味・関心がある生徒，また質問などがあれば気軽に担当教員に声をかけてください。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学Ⅲ	5	3 学年	Ⅱ コース理系

教科書名 数学Ⅲ・C (啓林館)

副教材名 Focus Gold Ⅲ+C アドバンス α Ⅲ 入試必修問題集 精錬 共通テスト過去問題集 I A II B

1. 科目目標

創造力と想像力の伸長

- ① 分析力の向上(状況判断する力)
- ② 翻訳力の向上(課題の内容を自分の言葉に言い換える力)
- ③ 目標設定力の向上(課題解決に向かってスモールステップを自分で設ける力)
- ④ 遂行力の向上(課題解決の過程を説明する力)

2. 学習計画及び評価方法

(CanDo リストになっています。単元毎に自己評価をしましょう)

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 ~ 7	極限	<ul style="list-style-type: none"> ・数列や関数の極限の式変形を身に付ける。 <input type="checkbox"/>漸化式を解くことができ、極限を求めることができる。(①分析力) <input type="checkbox"/>グラフを利用して、関数の極限を求めることができる。(②翻訳力)
		微分	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な関数の微分を通して、計算力を育みグラフをかくことで関数の挙動を調べる。 <input type="checkbox"/>導関数の定義や公式を使いこなすことができる。(①分析力) <input type="checkbox"/>グラフをかくことができる。(②翻訳力) <input type="checkbox"/>数Ⅱの微分の理論を活用し、問題を解くことができる。(③目標設定力)
【課題・提出物】			
教科担当者の指示に従うこと			
【第1学期の評価方法】			
定期試験の成績を基本とする。			
平常点を30%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9 ~ 12	積分 入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・積分計算を通して、複雑な図形の面積や体積を求める。 <input type="checkbox"/> 公式をしっかりと覚え、正しく適用できる。 (①分析力) <input type="checkbox"/> 面積や体積を求めることができる。 (①分析力③目標設定力) ・進路実現に向けて、各大学の入試問題や共通テストの問題演習をする。 <input type="checkbox"/> 総合的に実力を伸ばす。
	【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと		
	【第2学期の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。		

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 ~ 2	入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて、各大学の入試問題や共通テストの問題演習をする <input type="checkbox"/> 総合的に実力を伸ばす
	【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと		
	【第3学期の評価方法】 1, 2学期までの成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。		
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。			

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能 ②翻訳力	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	定期試験, 成果テストや 小テスト
思考・判断・表現 ③目標設定力	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統一的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	定期試験, 成果テストや 小テスト

<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>① 分析力</p> <p>④ 遂行力</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う</p>	<p>提出物の状況、他者との協働の様子、各種提出物など</p>
--	--	---------------------------------

4. 学習サポート(教科担当者より)

①授業について

「数学の授業と体育の授業は似ている」→自分でやらないと(間違ふ事をしないと)わからないし、出来るようにもならない。数学で大切なのはアウトプットすること。

- 先ず手を動かす事...自分で出来る部分と出来ない部分を把握し、復習する部分を見付ける。おとなしく聞いて板書を写すことが授業を受けていることと勘違いをしない。
- ノートを取るだけで満足しない...カラフルにノートをとっても意味はない。板書を写しているだけでも意味はない。大切なのは自分で解けるようになること。
- 分からなければ誰かに尋ねる...「教え合う」事で理解度 90%。
数学が苦手と自覚してる人は特に「人に尋ねる」こと心掛ける。
→win-win の関係を築く。

②学習法について

数学は復習型の教科 「授業→復習→演習→授業→復習→...」を心掛ける。

復習の仕方

- ・その日の授業に行った問題(解きにくいと感じたもの)を解き直す(計算用紙とか要らないものでよい)。その際、気付いた事や解き方のポイントなどをノートに書き込んだり付箋に書いて張り付けたり出来れば good!!→ノートにコメントを書いた分だけ自分オリジナルの参考書が作れる。
- ・理解が乏しければ、目印をつけ、数日後にもう一度解き直してみる。
- ・授業前にノートを開き、直前の内容を軽く思い出してみる。
- ・復習の際は、数式だけ羅列するのではなく、常に「誰かに見せるつもり、誰かに授業をするつもり(④遂行力の向上)」で書くこと。行間の日本語や途中計算をごまかさず丁寧に仕上げること。

演習の仕方...アドバンス α や Focus Gold を中心に演習

- ・計算力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 1~2
- ・考える力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 3~4
- ・Classi やロイロノートを大いに利用すること。

その他

- ・進路実現が最大の目標であり、そのためには大学受験を突破しなければならない。最終的に目指すべきところは国公立 2 次試験であり、そこで合格点を得るためには、参考書や問題集を活用して様々な解法やテクニックを自主的に身に付けること。家庭学習では「思考力を伴うような問題演習」(②翻訳力③目標設定力の向上)をメインに行うこと。(Classi やロイロノートを大いに活用すること)
- ・アクティブラーニングのときには「課題目標」「態度目標」を達成するのを心掛ける。積極的に他者に働きかけ、「静かに座って黙々と解く」ことをしてはならない。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
数学 C	2	3 学年	II コース理系

教科書名 数学Ⅲ・C (啓林館)

副教材名 Focus Gold III+C アドバンス α III 入試必修問題集 精錬 共通テスト過去問題集 I A I B

1. 科目目標

創造力と想像力の伸長

- ① 分析力の向上(状況判断する力)
- ② 翻訳力の向上(課題の内容を自分の言葉に言い換える力)
- ③ 目標設定力の向上(課題解決に向かってスモールステップを自分で設ける力)
- ④ 遂行力の向上(課題解決の過程を説明する力)

2. 学習計画及び評価方法

(CanDo リストになっています。単元毎に自己評価をしましょう)

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4 ~ 7	関数	<ul style="list-style-type: none"> ・関数を通して、対応関係を学ぶ。 <input type="checkbox"/>合成関数や逆関数の考え方を学び、微分積分の礎を作る。(①分析力) <input type="checkbox"/>関数のグラフと、方程式・不等式の相互関係を学び、それぞれの理解を深める。(②翻訳力③目標設定力)
		数列の極限	<ul style="list-style-type: none"> ・数列や関数の極限の式変形を身に付ける。 <input type="checkbox"/>漸化式を解くことができ、極限を求められる。(①分析力)
		入試対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて、各大学の入試問題や共通テストの問題演習をする。 <input type="checkbox"/>総合的に実力を伸ばす。
<p>【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと</p>			
<p>【第 1 学期の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。 平常点を 30%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。</p>			

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9 ~ 12	入試対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて、各大学の入試問題や共通テストの問題演習をする。 □総合的に実力を伸ばす。
		【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと	
		【第2学期の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。 平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。	

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 ~ 2	入試対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向けて、各大学の入試問題や共通テストの問題演習をする。 □総合的に実力を伸ばす。
		【課題・提出物】 教科担当者の指示に従うこと	
		【第3学期の評価方法】 1, 2学期までの成績を基本とする。 平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。	
		【年間の学習状況の評価方法】 定期試験の成績を基本とする。 平常点を20%以内で評価する。また、日常の授業に対する姿勢や課題の取り組み状況・確認試験の結果などによって減点をすることもある。	

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能 ②翻訳力	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	定期試験, 成果テストや 小テスト
思考・判断・表現 ③目標設定力	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	定期試験, 成果テストや 小テスト
主体的に学習に 取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判	提出物の状況, 他者との協働の様子,

① 分析力 ④ 遂行力	断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う	各種提出物など
----------------	---	---------

4. 学習サポート(教科担当者より)

①授業について

「数学の授業と体育の授業は似ている」→自分でやらないと(間違える事やしない)わからないし、出来るようにならない。数学で大切なのはアウトプットすること。

- 先ず手を動かす事...自分で出来る部分と出来ない部分を把握し，復習する部分を見付ける。おとなしく聞いて板書を写すことが授業を受けていることと勘違いをしない。
- ノートを取るだけで満足しない...カラフルにノートをとっても意味はない。板書を写しているだけでも意味はない。大切なのは自分で解けるようになること。
- 分からなければ誰かに尋ねる...「教え合う」事で理解度 90%。
 数学が苦手と自覚してる人は特に「人に尋ねる」こと心掛ける。
 →win-win の関係を築く。

②学習法について

数学は復習型の教科 「授業→復習→演習→授業→復習→…」を心掛ける。

復習の仕方

- ・ その日の授業に行った問題(解きにくいと感じたもの)を解き直す(計算用紙とか要らないものでよい)。その際，気付いた事や解き方のポイントなどをノートに書き込んだり付箋に書いて張り付けたり出来れば good!!→ノートにコメントを書いた分だけ自分オリジナルの参考書が作れる。
- ・ 理解が乏しければ，目印をつけ，数日後にもう一度解き直してみる。
- ・ 授業前にノートを開き，直前の内容を軽く思い出してみる。
- ・ 復習の際は，数式だけ羅列するのではなく，常に「誰かに見せるつもり，誰かに授業をするつもり(④遂行力の向上)」で書くこと。行間の日本語や途中計算をごまかさず丁寧に仕上げること。

演習の仕方...アドバンス α や Focus Gold を中心に演習

- ・ 計算力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 1~2
- ・ 考える力をつけたい→アドバンス α, Focus Gold *マーク 3~4
- ・ Classi やロイロノートを大いに利用すること。

その他

- ・ 進路実現が最大の目標であり，そのためには大学受験を突破しなければならない。最終的に目指すべきところは国公立 2 次試験であり，そこで合格点を得るためには，参考書や問題集を活用して様々な解法やテクニックを自主的に身に付けること。家庭学習では「思考力を伴うような問題演習」(②翻訳力③目標設定力の向上)をメインに行うこと。(Classi やロイロノートを大いに活用すること)
- ・ アクティブラーニングのときには「課題目標」「態度目標」を達成するのを心掛ける。積極的に他者に働きかけ，「静かに座って黙々と解く」ことをしてはならない。

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
物理	3+特指	3	Ⅱコース物理選択者

教科書名 物理（東京書籍）

副教材名 ニューグローバル物理基礎+物理（東京書籍）

共通テスト直前演習（ラーンズ） WINSTEP 物理（ラーンズ）

1. 教科目標

1. 物理に対する興味関心を高め、物理の基礎的な考え方を身に付ける。
2. 大学に合格するだけでなく、大学での学習・研究の基礎となる力を身に付ける。
3. 生涯にわたり必要となる科学的な知識・思考力を身に付ける。

学習した基本的な原理・法則を用いて、身近な物理的な事物・現象を物理学的に解釈し、また、物理に関わる問題に直面したときに、自分の力で解決する方法を見いだす能力と態度を身に付ける。そのために、原理や法則を単に暗記するのではなく、それらを理解させることを目的とし、法則の導出の過程を自ら探求し考える。

また、物理現象を理解するにあたり、授業を聞くだけでなく、自らの考えを自分の言葉で表現する機会を大切にし、科学的な思考力を言語表現力とともに高める。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい	
1 学 期	4	1 電場	1 静電気力	クーロンの法則について学ぶ。 電場の概念を理解し、電場の合成や電界から電荷が受ける力について学ぶ。 電位の概念を理解し、点電荷による電位や一様な電界における電位について理解する。 コンデンサーが充電する電荷、たくわえるエネルギーについて学ぶ。 コンデンサーの接続について学ぶ。
			2 電場	
		5	3 電位	
			4 コンデンサー	
	1 学期中間試験			
	6	2 電流	1 電流	電流の定義やオームの法則の復習をする。 キルヒホッフの法則を用いて複雑な回路について解析をする。 電球などの非線形抵抗について理解する。 電場と比較しながら磁場を理解する。 電流のつくる磁界のようすを学ぶ。 磁場が電流におよぼす力について学ぶ。 運動する荷電粒子が磁場から受ける力について理解する。
			2 直流回路	
		3 電流と磁場	3 非線形抵抗	
			1 磁場	
			2 電流がつくる磁場	
3 電流が磁場から受ける力				
4 ローレンツ力				
1 学期期末試験				
【課題・提出物】				
・演習プリント、確認テスト ・ニューグローバル物理 ・WINSTEP				

【第1学期の評価方法】 定期試験 + 平常点 (課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)					
月	学習内容	学習のねらい			
2 学 期	7	4 電磁誘導と電磁波 1 電磁誘導の法則 2 磁場中を運動する導体の棒 3 自己誘導と相互誘導	ファラデーの電磁誘導の法則を理解する。 磁場中を運動する導体棒に生じる誘導起電力について理解する。 自己誘導, 相互誘導, コイルがたくわえるエネルギーについて理解する。		
	8	4 交流 5 電気振動と電磁波	交流が発生する仕組みを電磁誘導の法則から理解する。 交流における抵抗, コンデンサー, コイルのはたらきについて理解する。 振動回路, 共振, 電磁波の発生とその性質について理解する。		
	9	1 電子と光 1 電子の電荷と質量 2 光の粒子性 3 X線 4 粒子の波動性	陰極線の性質について理解する。 ミリカンの実験について理解する。 光電効果について理解し, 光量子仮説について考える。 X線の波動性と粒子性について理解する。 波動と粒子の二重性について理解する。		
		10	2 原子・原子核素粒子 1 原子モデル 2 放射線と原子核 3 原子核反応 4 素粒子と宇宙	ボーアの原子モデルから量子条件について理解する。 放射線の性質と原子核の崩壊について理解する。 質量とエネルギーの等価性について理解する。 核分裂と核融合について理解する。 素粒子の分類, 性質について理解する。	
			11	◆ 2学期中間試験 問題演習	一般入試に向け, 実践問題演習を行う。 大学入学共通テストに向け, 実践問題演習を行う。
			12	◆ 2学期期末試験 入試問題実践演習	国公立大学入試に向け, 入試問題演習を行う。
	【課題・提出物】 ・演習プリント, 確認テスト ・ニューグローバル物理 ・WINSTEP ・夏期休業中課題				
	【第2学期の評価方法】 定期試験 + 平常点 (課題への取り組み, 授業に対する意欲・積極性)				

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	大学入学共通テスト対策演習	大学入学共通テストに向け、実践演習を行う
	2	国公立2次試験・私立大入試対策演習	入試に向けて問題演習を行う。
	【課題・提出物】 ・演習プリント，確認テスト ・ニューグローバル物理 ・WINSTEP ・冬期休業中課題 【第3学期の評価方法】 定期試験 + 平常点（課題への取り組み，授業に対する意欲・積極性）		
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験 + 平常点（課題への取り組み，授業に対する意欲・積極性）			

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	物理量や物理の現象について理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	定期考査 確認テスト
思考・判断・表現	様々な物理現象について，問題を見だし見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に考察し表現しているなど，科学的に探究している。	グループワークにおける活動 定期試験
主体的に学習に取り組む態度	学習活動に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	学習活動における態度，振り返りシート

4. 学習サポート

1. 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち，その法則性について考える態度を身につけましょう。 2. 物理法則の導出過程を大切に，論理的な思考力を高めよう。 3. クループ活動・討論をしながら，学び合い・教え合う姿勢を身につけましょう。 4. 繰り返し演習に取り組み，徹底して基礎を定着させましょう。 <定期試験に向けて> 1.演習プリントで基礎の確認。 2.ニューグローバル物理を2～3周。 <模試に向けて> 1.ニューグローバル，WINSTEP でしっかり復習。 2.過去問題で実践演習。テスト形式で行い，自己採点をして解き直し。
--

科目	単位数	対象学年	対象クラス
実践化学	3	3	IIコース・理系クラス

教科書名 化学 academia (実教出版)

副教材名 ビーライン化学(第一学習社)

進研共通テスト直前演習 化学(Learn-S)

とってもやさしい化学 (旺文社)

1. 科目目標

- ① 化学的な物事、現象に関する基本的な原理、法則、語句の意味を理解する。
- ② 物質に関する基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できるようにする。
- ③ 観察・実験などを通して研究を行い、化学的に探求する方法や問題解決の能力を身に付けるようにする。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	2章 物質の変化と平衡 4節 化学平衡 3. 電解質水溶液の平衡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電離平衡と電離定数, 酸の電離定数, 塩基の電離定数, 電離度および電離定数を求める力を育成する。 ・ 水の電離平衡を理解し, pH を求める力を育成する。 ・ 塩の加水分解と水溶液の性質について学習する。 ・ 緩衝作用とは何か理解する。 ・ 緩衝液と pH の関係を学習する。 ・ 難溶性塩の溶解と溶解度積, 溶解平衡と沈殿生成, 共通イオン効果, 溶解平衡と金属イオンの分離を学習する。
	5	3章 無機物質 1節 周期表 1 周期表と元素の性質 2節 非金属元素 1 水素と貴ガス 2 ハロゲンとその化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周期表の構成と単体の性質について理解する。メンデレーエフの功績について学習する。 ・ 水素, およびハロゲンの単体と代表的な化合物の性質について学習する。

	<p>特集3 生命体を構成する元素 特集4 気体の発生と捕集・乾燥 1 学期中間試験</p> <p>3節 典型金属元素 1 アルカリ金属 2 アルカリ土類金属 特集5 両性金属</p> <p>4節 遷移元素 1 遷移元素とその化合物 2 鉄 3 銅 4 銀 5 亜鉛 6 クロムとマンガン 7 金属イオンの分離と確認</p> <p>4章 有機化合物 6 1節 有機化合物の特徴と構造 1 有機化合物の特徴と分類 2 有機化合物の構造の決定</p> <p>2節 脂肪族炭化水素 1 飽和炭化水素 2 不飽和炭化水素</p> <p>7 1 学期期末試験</p> <p>夏期進学講座</p> <p>8 3節 酸素を含む脂肪族化合物 1 アルコールとエーテル 2 アルデヒドとケトン 3 カルボン酸とエステル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気体の製法および性質について学習する。 ・ 工業的製法について学習する。反応の仕組み、製造工程、これに伴った生産量の算出について学習する。 ・ アルカリ金属，アルカリ土類金属の単体と代表的な化合物の性質について学習する。 ・ 両性金属について学習する。 ・ 遷移元素の特徴について学習する。 ・ 金属イオンの定性反応を理解し，混合溶液からの分離について学習する。 ・ 官能基による有機化合物の分類，特徴を学習する。 ・ 燃焼分析の実験操作，未知試料の有機化合物の構造決定について学習する。 ・ アルカンの構造式を書き構造異性体を理解し置換反応を学習する。 ・ アルケンの構造式を書き，幾何異性体について理解する。 ・ アルケン，アルキンの付加反応を学習する。 ・ 代表的な有機化合物を暗記して，利用できるようにする。 ・ アルコールを中心とした有機化合物の系統図を書ける力を身につける。 ・ エステルの反応機構を理解する。 ・ 油脂の構造について学習する。
<p>【課題・提出物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中に配布する演習プリント ・ 授業ノート 		

<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績（70%） ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。</p> <p>② 学習態度等の平常点（30%） ・授業時の学習過程で評価の観点の3項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。</p>			
月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	<p>4節 芳香族化合物</p> <p>1 芳香族炭化水素</p> <p>2 酸素を含む芳香族化合物</p> <p>3 窒素を含む芳香族化合物</p> <p>4 混合物の分離</p>	<ul style="list-style-type: none"> ベンゼンを中心とする芳香族炭化水素の構造および性質，反応性について学習する。 酸素を含む芳香族化合物について学習する。（フェノール類，芳香族カルボン酸） 窒素を含む芳香族化合物について学習する。 芳香族化合物の混合物の分離について，学習する。 有機高分子と無機高分子の違いを理解する。 天然高分子と合成高分子についての概要を理解する。 単糖類、二糖類と六炭糖と五炭糖・デンプン，グリコーゲンについて，反応と共に学習する。 アミノ酸の性質，反応またタンパク質の種類，構造，反応について理解する。 核酸の構成について理解する。 合成方法の違いと生成物について理解し分類できる力を身につける。 プラスチックの分類について理解する。 代表的な機能性高分子と性質について理解する。（イオン交換樹脂、導電性高分子など） 天然ゴム，合成ゴムとその性質について比較し理解する。 単元別、時間をはかりながら、実践的な演習を行う。
	10	<p>5章 高分子化合物</p> <p>1節 高分子化合物</p> <p>1 高分子化合物の分類と特徴</p> <p>2節 天然高分子化合物</p> <p>1 糖</p> <p>2 タンパク質</p> <p>3 核酸</p> <p>2学期中間試験</p>	
	11	<p>3節 合成高分子化合物</p> <p>1 合成繊維</p> <p>2 合成樹脂(プラスチック)</p> <p>3 機能性高分子化合物</p> <p>4 ゴム</p> <p>共通テスト対策演習 一般試験、二次試験対策</p> <p>2学期期末試験</p>	
	12	<p>共通テスト対策演習 一般試験、二次試験対策</p>	
<p>【課題・提出物】</p> <p>・授業中に配布する演習プリント ・授業ノート ・夏季休業中の課題</p>			

【第2学期の評価方法】 ① 定期試験の成績（80%） ・知識・理解の確認とともに、化学的思考について問う問題も出題する。 ② 学習態度等の平常点（20%） ・授業時の学習過程で評価の観点の3項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。		
月	学習内容	学習のねらい
1	共通テスト対策演習 一般試験、二次試験対策	・時間をはかりながら、実践的な演習を行う。
3 学 期	【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント	
	【第3学期の評価方法】 ① 学習態度等の平常点 ・授業時の学習過程で評価の観点の3項目について評価する。 ・課題の提出状況・小テストの成績を総合して評価する。	
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の成績を総合して評価する。		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

知識・技能	・物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する基礎を身につけている。	・授業時の様子 ・定期試験 ・小テスト
思考・判断・表現	・物質とその変化の中に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・授業時の様子 ・授業ノート ・演習プリント ・定期試験
主体的に学習に取り組む態度	・日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする。 ・科学的な見方や考え方を身につけている。	・授業時の様子 ・授業ノート ・演習プリント ・実験レポート

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

随時、学習相談を実施しているので、つまづいている箇所があれば早めに質問しに来てください。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
実践生物	3 + 特指	3 学年	II コース理系

教科書名 生物 (啓林館)

副教材名 スクエア最新図説 (第一学習社) セミナー生物基礎 (第一学習社)

スタディアップノート (数研出版) セミナー生物 (第一学習社) 生物ノート (数研出版)

1. 科目目標

1. 「生物」の面白さを知る

「生物」という科目では、生命現象のしくみや生命同士のつながり、生命の歴史について学ぶ。これらは、生命のひとつである「自分自身」を知ること・理解することであり、考えることだ。生命の神秘さ、面白さを実感する。

2. 学力をつける

日本大学基礎学力到達度テスト、大学入学共通テスト、私立大学一般試験に対応できる学力を構築する。

3. 客観的な視点を育む

「生物」の学びを通して、「自分自身」や「自分自身をとりまく世界」を客観的に理解する視点を育む。

2. 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	大学入学共通テストに向けた演習① <u>生物基礎</u>	第1編 生物の特徴 生物は多様であること、多様な生物にも細胞構造をもつなど共通性があることを理解する。
	5	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物が代謝によってエネルギーを取り出していることを学習する。
	6	第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と生態系 1 学期中間試験	第2編 生物の特徴 遺伝子の本体である DNA について、構造および遺伝情報はその塩基配列にあることを理解する。また、転写と翻訳の概要から、生命現象において重要なタンパク質の合成について学習する。 第3編 生物の多様性と生態系 植生や遷移のしくみ、バイオームについて学習する。また、生態系の成り立ち、生態系における物質循環とエネルギーの流れについて学習する。

	<p>大学入学共通テストに向けた演習②</p> <p>生物</p> <p>第1編 生命現象と物質 第1章 生物の進化</p> <p>第2編 生命現象と物質 第2章 細胞と分子 第3章 代謝</p> <p>第3編 遺伝情報の発現と発生 第4章 遺伝情報の発現と発生</p> <p>1学期期末試験</p>	<p>第1編 生命現象と物質</p> <p>生命の起源として、無機物から有機物が生じ、有機物の集まりから「細胞」が生じたと考えられていることを理解する。</p> <p>生物が代謝を通じて地球の環境を変化させてきたこと、地球の環境の影響を受けて生物が進化してきたことを理解する。</p> <p>第2編 生命現象と物質</p> <p>細胞を構成する代表的な物質とその特徴について理解する。生物の生命活動を担うタンパク質の構造について理解する。</p> <p>第3編 遺伝情報の発現と発生</p> <p>DNAの構造・複製・タンパク質合成について、その詳細なしくみを理解する。</p>	
	<p>【課題・提出物】</p> <p>・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物（定期試験範囲、月別範囲）</p>		
	<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>① 定期試験の成績（70%） ② 学習態度等の平常点（30%）</p>		
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	大学入学共通テストに向けた演習③	第4編 生物の環境応答
	10	第4編 生物の環境応答	動物は外界からの刺激に反応し、神経系を介して反応や行動が起こるしくみを理解する。
		第5章 動物の反応と行動 第6章 植物の環境応答	植物の成長や反応に植物ホルモンがどのように関わっているか理解する。
	11	第5編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系	第5編 生態と環境
2学期中間試験		個体群や生物群集について、それぞれの特徴を学習する。特にそれぞれの個体群は、生態系内で特定の役割を果たしていることを理解する。	
	11	大学入学共通テストに向けた演習④ (生物基礎と生物の総復習)	生物基礎・生物の基礎知識を整理し、問題を解く力を身に付ける。
	12	・入試問題の分析 ・入試問題の演習	
		2学期期末試験	

【課題・提出物】 ・授業中に配布する演習プリント ・セミナー生物（定期試験範囲、月別範囲）		
【第2学期の評価方法】 ① 定期試験の成績（80%） ② 学習態度等の平常点（20%）		
月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1 大学入学共通テストに向けた演習 プレ問題、過去問題、演習	生物基礎・生物の基礎知識を整理し、問題を解く力を身に付ける。
【課題・提出物】 ・プレゼンテーションに使用した資料		
【第3学期の評価方法】 学習態度等の平常点 ・授業時などの学習過程で、評価の観点の3項目について評価する。		
【年間の学習状況の評価方法】 ①定期試験の成績（80%） ②平常点（20%）		

3. 評価の観点、内容及び評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出すことができる。 生命現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。 自然界の様々な事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養が身につけられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を化学的にとらえられる。 科学的に探究する方法を身につけ、それらの過程や結果を導き出し、それを表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業時の様子 定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 授業時の様子 提出物

4. 学習サポート（事前・事後学習等について）

<ul style="list-style-type: none"> 随時、学習相談を実施していますので、理解の難しい所、つまづいている箇所があれば、早めに解決しましょう。 基礎学力到達度テスト・大学入学共通テストに向けて、授業内でも過去問演習や問題の解説等の時間を作っていきます。

教科・科目	単位数	対象学年	対象クラス
体育	3	3	I・IIコース共通

教科書名 現代高等保健体育（大修館書店）

副教材名 現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1 教科目標

生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため

- (1) 運動の多様性や体力の必要性を理解し、それらの知識・技能を身に付ける。
- (2) 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 健康・安全を確保し、運動に親しむ態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	集団行動 ①挨拶・集合・体形 ②方向変換・列の増減 体づくり運動・体育理論（通年で行う） (1) 体づくり運動 ①体ほぐしの運動 ②実生活に生かす運動の計画 (2) 体育理論 スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展（1年次） 運動やスポーツの効果的な学習の仕方（2年次） 豊かなスポーツライフの設計の仕方（3年次） 陸上競技〔走〕ア競争 ①短距離走 ②持久走	・集団の一員として迅速に、かつ安全に行動できる力を身に付ける。 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付きや関わり合うことを身に付ける。 ②健康に生活をするための体力の向上、運動を行うための体力の向上を図る運動の計画と実践に取り組む姿勢を育成する。 ・以下4項目に関し、体育実技の実施と関連させながら学習する。 ①スポーツの歴史的発展と多様な文化 ②現代スポーツの意義や価値 ③スポーツの経済的効果と高潔さ ④スポーツが環境や社会にもたらす影響 ・2年次までの学習を踏まえて、記録の向上や競争の楽しさを味わう。 ・ルールマナーを大切に、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たすことに意欲を持って取り組む力を育成する。 ・毎年継続して実施をする、スポーツテスト〔走〕種目における、自己の目標達成及び記録向上を目指す。

	<p>スポーツテスト（新体力テスト） 種目：握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p> <p>ソフトテニス</p> <p>① オリエンテーション</p> <p>② グランドストローク (フォア・バック・ロブ)</p> <p>③ バックハンド</p> <p>④ サービス</p> <p>⑤ ルール</p> <p>⑥ ゲーム（簡易ゲーム・ダブルス）</p> <p>理論 ソフトテニスの特性・ルール・試合運営などを学ぶ</p>	<p>・自分の今持っている体力を知り日常の運動の習慣を身につけ、生涯スポーツに繋がる土台を育成する。</p> <p>ソフトテニスの基礎技術を身につけ、ネット型スポーツの特性を理解する。 (生徒自らが)主体的にゲームを中心とした活動が出来る力を育成する。 フォアハンド、ロブを重点に習得し、ラリー（乱打）を継続できる力を身に付ける。 バックハンドの技術、およびサービスを狙った所へ打つことの出来る力を身に付ける。 生徒の技量に合わせた内容で試合（簡易ゲーム含）が出来る力を身に付ける。</p> <p>生涯スポーツの選択肢の一つとして、ソフトテニスも含まれるような知識、技能を身に付ける。</p>
--	---	--

【課題・提出物】 期末試験前後にソフトテニスに関するレポート・小テストを実施予定。

【第1学期の評価方法】

1. 実技試験（60%）

①ソフトテニスの基礎技術に関する試験を実施する。

グラウンドストローク（フォア・バック）、サービス、簡易ゲームによる技術的評価

②スポーツテスト（新体力テスト）

・50m走、持久走、ハンドボール投げ、反復横とび、長座体前屈、握力、上体起こし、立ち幅跳び

※実施時間数によって上記種目から選択をし、評価に加える。

2. 授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点（40%）

- ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。
- ・正しい服装で授業へ参加できている。
- ・ルール等の確認テスト。

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>体づくりの運動</p> <p>① 体ほぐしの運動</p> <p>② 体力を高める運動</p>	<p>長期休業後の体力回復、怪我、病気等の予防につながる力を育成する。</p> <p>特に柔軟・心肺機能の向上を目的とする。</p>

10 11 12	〔球技選択〕 バスケットボール バレーボール サッカー ソフトボール等 ・ゲーム・簡易ゲーム形式中心で実施 体育理論 ・実施する種目のルール・技術の知識の 習得	今まで学んできた球技を中心とした種目を、競技レベルに合わせた内容で、自らが主体となって種目（授業）を展開する力を身に付ける。 生涯スポーツにつながられるよう、多岐にわたる種目を選択・実施する。 実施する種目ごとに基礎的スキル・ルール、ゲームの進め方についての知識・技能を身に付ける。
【課題・提出物】 期末試験前後に選択種目内から選び、レポート・小テストを実施予定。		
【第2学期の評価方法】 ①実技試験（60%） ・主とする実施種目への取り組み及びスキル評価表を基に評価する。 ※選択種目等により評価の違いが出ないように、教科会で審議の上、内容を決定する。 ②授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点(40%) ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。		
3 学 期	月 1 〔球技選択〕	学習のねらい 授業を通じて仲間との協力、協調、楽しさや喜びを学習する。 種目のルール、試合運営を学び、仲間と協力してゲームを進める力を身に付ける。
【課題・提出物】 なし		
【第3学期の評価方法】 1. 実技試験・授業への取り組み（60%） ・主とする実施種目への取り組みを基に評価をする。 2. 授業態度・意欲・服装・出席状況・ルール小テストなど学習態度等の平常点（40%） ・積極的に授業へ参加し、準備や片付けも協力してできる。 ・正しい服装で授業へ参加できている。		
【年間の学習状況の評価方法】 1 学期末と2 学期末に進学用の仮評定を算出する。 学年末の評定（評価）は1 学期・2 学期・3 学期の実技の平均（60%） 年間の授業態度・意欲・服装・出席状況（40%） 知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度等の観点を含め総合的に評価する。		

3 観点別評価内容および評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<p>運動の合理的，計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに，目的に応じた技能を身に付けている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 運動技術（技）の名称や試合を進めるためのルールを学ぶ姿勢がある。 2. 各運動の特性に応じて段階的な技能を身につけており，ゲームに生かすことができる。 3. 各運動の特性に応じて勝敗を競い，攻防を展開できる技能を有する。 4. ミニゲームの審判を務めることができる。 	<p>実技テスト 確認テスト 記録 観察</p>
思考・判断・表現	<p>自己や仲間の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて，課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに，それを他者に伝えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己や仲間の状況に応じて体力を高める運動を継続するための取り組みを工夫し，伝えようとしている。 2. 課題解決のために身に着けた技能を生かすことができる。 	<p>記録 観察</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう，運動の合理的，計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 欠席が少なく，授業への参加態度が良好である。 2. 健康・安全に配慮した服装で参加をし，学習に主体的に取り組もうとする態度で臨んでいる。 3. 多様性を理解し仲間と協力することができる。 	<p>記録 観察</p>

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

実技科目の特性上，基本は授業内で実施をするが，必要性や状況に応じて対応する。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
英語コミュニケーションⅡ	5	3	Ⅱコース

教科書名 ELEMENT English Communication III (啓林館)
 副教材名 2025 大学入学共通テスト実戦問題集 英語リーディング (駿台文庫)
テーマごとに4技能を学ぶ Interactive 4 skills 1 CEFR A2 LEVEL (旺文社)
英単語ターゲット 1900 (旺文社)
Cutting Edge Blue 大学入試長文読解問題集 (エミル出版)
共通テスト英語模擬演習 40min. 2025 Ver.2 (エミル出版)
進研 WINSTEP Plus 英語 新課程版 (ラーンズ)

1 科目目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域（聞くこと・読むこと・話すこと[やりとり]・話すこと[発表]・書くこと）において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Lesson 1 Energy <エネルギー・環境> 移動の際に最も環境負荷の低い交通手段は？	Numbers Don't Lie: Which Is Eco-Friendly? (論説文: 500 語程度)を読む。 社会的な事柄についてグラフなどを参考にしながら、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することを学習する。
	5	Lesson 2 Environment and Life <自然・環境> 環境保護がオランウータンを減少させる？ 【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON1~2 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter1~3 1 学期中間試験	Environment or Orangutans? (論説文: 500 語程度)を読む。 社会的な事柄についてグラフなどを参考にしながら、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することを学習する。

	6	Lesson 3 Health and Life <健康・医学> ①人は何時間眠ればよい？ ②人は睡眠を奪われるとどうなる？	Sleeping (ダブルパッセージ：各 300 語程度)を読む。 社会的な事柄について短い 2 つの論説文を読み比べて、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することを身につける。
	7	Lesson 4 Humans and Technology <科学技術・脳科学> ①インターネットは記憶力をダメにした？ ②デジタル時代の記憶力の変化とは 【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON3~4 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter4~6 1 学期期末試験	The Digital-Era Brain: Damaged or Improved? (ダブルパッセージ：各 300 語程度)を読む。 社会的な事柄について短い 2 つの論説文を読み比べて、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することを身につける。
	【課題・提出物】 ・各種テキスト ・単語テスト		
【1 学期の評価方法】 ・定期試験素点：70% (1 学期中間試験・1 学期期末試験) ・平常点：30% (課題提出・単語テスト・授業態度)			
	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	Lesson 5 Diversity <人権・多様性> 絵文字の抱える多様性への問題とは	Emoji-The Language of the Online World (説明文：700 語程度)を読む。 社会的な事柄について書かれた説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することを学習する。
	10	Lesson 6 Education <教育・経済> 5 ドルと 2 時間で何ができる？	A Class from Stanford University (エッセイ：1,000 語程度)を読む。 身近な事柄について書かれたエッセイを読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理することを学習する。

	<p>【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON5～6 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter7～9</p> <p>2 学期中間試験</p> <p>11 Lesson 7 Miracles of Nature ＜自然科学＞ 卵の形はなぜ違う？</p> <p>12 Lesson 8 Sustainable Development ＜科学技術＞ 持続可能な社会を目指すフードテック産業とは</p> <p>Lesson 9 Art and Heart ＜人間愛・家族＞ デューラーの「祈りの手」にまつわる逸話</p> <p>【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON7～8 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter10～12</p> <p>2 学期期末試験</p>	<p>Not All Eggs Are Created Equal （説明文：700 語程度）を読む。 科学的な事柄について書かれた説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することを学習する。</p> <p>The Present and Future of Food Tech （説明文：1,000 語程度）を読む。 科学的な事柄について書かれた説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断することを学習する。</p> <p>Praying Hands （物語文：700 語程度）を読む。 身近な事柄について書かれた物語文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読むことを学習する。</p>
<p>【課題・提出物】 ・夏期休業期間中の課題 ・各種テキスト ・単語テスト</p>		
<p>【2 学期の評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験素点：80%（2 学期中間試験・2 学期期末試験） ・平常点：20%（課題提出・単語テスト・授業態度） 		

	月	学習内容	学習のねらい
3 学 期	1	Lesson 10 Human Relationships <人間愛・学校> 人生を支えた学校時代の思い出 【Interactive4skills1CEFR A2】 LESSON9～10 【英単語ターゲット 1900】 【Cutting Edge Blue】 Chapter13～16	All the Good Things (物語文：1,000語程度)を読む。 身近な事柄について書かれた物語文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、行間を読むことを学習する。
	【課題・提出物】 ・冬期休業中の課題 ・ワークブック ・単語テスト		
	【3学期の評価方法】 定期試験素点：80% (1学期中間試験・1学期期末試験・2学期中間試験・2学期期末試験) 平常点：20% (課題提出, 単語テスト, 授業態度)		
	【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80% (定期試験素点の平均点) 平常点：20% (平常点の平均点)		

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	定期試験 単語テスト
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。	授業時の様子 課題
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしている。	授業時の様子 課題

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

2年次までの教科書とは違い、新出語句などが教科書に提示されているわけではないので、予習の段階で未知語の意味を調べておく必要があります。これまで同様、英語の長文を正確に読解するためには、語彙数・語彙力が必須です。与えられて知るのではなく、自ら進んで調べるようにしましょう。教科書の読解で培った基礎的な力を持って、模試を受験します。受験後はできるだけ早く解説を行います。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
論理・表現Ⅲ	3	3	Ⅱコース

教科書名 Vision Quest English Logic and ExpressionⅢ (啓林館)

副教材名 Vision Quest 総合英語 (啓林館)

スクランブル英文法・語法 4th Edition 準拠トレーニング問題集 (旺文社)

大学入学共通テストリスニング分野別 10 min. (エミル出版)

共通テストリスニング 実戦 30 min. Ver.2 (エミル出版)

1 科目目標

「論理・表現Ⅰ，Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動に行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を育成する。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	Lesson 1 学習／言語 Friendship and improvement 【話題】 学生の悩み解決：留学中の2人の日本人学生から送られた相談メールを読んで、それぞれの悩みを解決する。 Lesson 2 学習／言語 Which is better, a paper or an electronic dictionary? 【話題】 紙の辞書と電子辞書：書店で販売員が話す「紙の辞書」と「電子辞書」の説明を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。	【表現】 助言(Advice)：助言を与える表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと]：留学中の学生に悩みの解決策を助言するために、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。
	5	Lesson 3 心理 Can you change your personality? 【話題】 悩み相談コラム：相談コラムに寄せられた性格に関する悩みと返信の投稿を読んで、悩みと助言を理解する。 【準拠トレーニング問題集】 第1章～第5章 【分野別 10 min.】 第1回～第5回 1学期中間試験	【表現】 譲歩(Concession)：譲歩する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 プレゼンテーション [話すこと]：初級言語学習者は「紙の辞書」と「電子辞書」のどちらを使うのが良いかについて、自分の意見を論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。 【表現】 関係(Relationship)：物事の間接性を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと]：自分の性格について、子供の頃の性格と比較しながら、理由や具体例とともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。

<p>6</p>	<p>Lesson 4 心理 How do we make decisions? 【話題】 決断：心理学の授業で、2つの異なる「決断スタイル」に関する講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。</p>	<p>【表現】 判断の根拠 (Bases of decisions) : 判断の根拠を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと] : これまで重大な決断について、いつどのように決断したか、また決断の結果について、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p>
<p>7</p>	<p>Lesson 5 医療／健康 Online doctor consultations 【話題】 オンライン診療：留学中にインターネットで調べた病院のウェブサイトを見て、オンライン診療と対面診療の利点について考える。</p> <p>Lesson 6 医療／健康 Healthy lifestyle 【話題】 健康的なライフスタイル：クラスメートのジェイクと沙也加との会話を聞いて、ジェイクの状況や問題点を理解し、健康的な生活へのアドバイスを考える。</p> <p>Lesson 7 異文化 What do you do after school? 【話題】 部活動の違い：日本とアメリカの部活動の形態について、やり取りされる学生同士のメール文を読んで、それぞれの部活動の特徴や違いを理解する。</p> <p>【準拠トレーニング問題集】 第6章～第12章 【分野別 10 min.】 第6回～第9回 1 学期期末試験</p>	<p>【表現】 代替 (Alternative) : 代替を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと] : オンライン診療と対面診療の利点について考え、どちらがより良いと思うかについて、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>【表現】 結果 (Result) : 結果を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと] : ジェイクのクラスメートとして、生活の問題点と改善策を示して助言するため、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>【表現】 物事の正負の影響 (Positive and negative affects) : 物事の正負の影響に関する表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 パラグラフ [書くこと] : アメリカの部活動と日本の部活動の形態のどちらが良いと思うかについて、自分の経験を踏まえて、自分の意見を理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p>
<p>【課題・提出物】 ・各種テキスト ・小テスト</p>		
<p>【1学期の評価方法】 定期試験素点：70%（1学期中間試験・1学期期末試験） 平常点：30%（課題提出・小テスト・授業態度）</p>		

	月	学習内容	学習のねらい
2 学 期	9	<p>Lesson 8 異文化 Direct and indirect ways of communication</p> <p>【話題】 コミュニケーションの方法：2つのコミュニケーション文化（高コンテキストと低コンテキスト）について話される講義を聞いて、それぞれの特徴や違いを理解する。</p> <p>Lesson 9 情報化社会 Should we use social media?</p> <p>【話題】 SNSの好影響と悪影響：SNSのプラス面とマイナス面について書かれた記事を読んで、SNSが日常生活に与える影響について考える。</p>	<p>【表現】 差異 (Differences)：差異を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 パラグラフ [書くこと]：日本人にとって、高コンテキストのコミュニケーションが有益かどうかについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>【表現】 類似 (Similarity)：類似を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 パラグラフ [書くこと]：SNSの使用のメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p>
	10	<p>Lesson 10 情報化社会 Are you a good user of social media?</p> <p>【話題】 SNS上のトラブル：学生に頻発するSNS上のトラブルについて話される講義を聞いて、その問題点や予防のために必要なスキルを理解する。</p> <p>Lesson 11 社会構成 Lifetime employment or career changes?</p> <p>【話題】 終身雇用と転職：終身雇用と転職の比較について、オンラインでやり取りされる生徒同士のやり取りを読んで、現状や傾向を理解する。</p>	<p>【表現】 理由 (Reasons)：理由を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 パラグラフ [書くこと]：SNSの適切な使用を奨励するために、自分の考えを理由や具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>【表現】 可能性 (Probability)：可能性を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。</p> <p>【論理】 パラグラフ [書くこと]：日本の終身雇用と転職について、どちらの立場を支持するかの意見を理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p>
		<p>【準拠トレーニング問題集】 第13章～第16章 【分野別 10 min.】 第10回～第14回 2学期中間試験</p>	

<p>11</p>	<p>Lesson 12 社会構成 Diversity in the workplace [話題] 職場の多様性：テレビ番組のジャーナリストが多様性の促進について話すのを聞いて、日本の職場で起こり得る多様性と現状を理解する。</p> <p>Lesson13 経済 The rise of the cashless society [話題] キャッシュレス社会：電子決済システムについて発表するため、キャッシュレス社会に関する記事と投稿を読んで、その利点と欠点を理解する。</p>	<p>[表現] 情報の追加 (Further Information)：情報の追加を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] パラグラフ [書くこと]：社会の多様性について、どのような場所で求められ、どのように促進するのかという点を含めて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して書いて伝えることを学習する。</p> <p>[表現] 対照 (Contrast)：対照を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] スピーチ [話すこと (発表)]：電子決済システムのメリットとデメリットについて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。</p>
<p>12</p>	<p>Lesson 14 経済 The gap is widening. [話題] 収入格差：収入格差に関するニュースとクラスメートの会話を聞いて、その原因や解決策について考える。</p> <p>Lesson 15 環境問題 What can we do to solve global warming? [話題] 近年の環境問題：地球温暖化の変化について書かれた記事を読んで、近年の現状や気付きをまとめる。</p> <p>Lesson 16 環境問題 Saving the earth from plastic waste [話題] 環境保護：環境保護についての情報を得るため、プラスチック汚染に関するポッドキャストを聞いて、原因や影響を理解する。</p>	<p>[表現] 意見 (Opinions)：意見を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] スピーチ [話すこと (発表)]：貧富の差の原因と解決策について、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。</p> <p>[表現] 変化 (Changes)：変化を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] プレゼンテーション [話すこと (発表)]：地球温暖化を食い止めるために、国や地方レベルでできることについて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。</p> <p>[表現] 要約・結論 (Summary and Conclusion)：要約・結論を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 [論理] スピーチ [話すこと (発表)]：プラスチックごみから環境を守る方法について発表するため、現状や問題点、自分の考えを理由や具体例な</p>

		<p>【準拠トレーニング問題集】 第 17 章～第 23 章 【実戦 30 min.】 第 1 回～第 3 回 2 学期期末試験</p>	<p>どとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを学習する。</p>
		<p>【課題・提出物】 ・夏期休業中の課題 ・各種テキスト ・小テスト</p>	
		<p>【2 学期の評価方法】 定期試験素点：80%（2 学期中間試験・2 学期期末試験） 平常点：20%（課題提出，小テスト，授業態度）</p>	
	月	学習内容	学習のねらい
3 学期	1	<p>Lesson 17 技術 Innovation in machine translation 【話題】 機械翻訳：機械翻訳と近年の進歩に関する記事を読んで、その特徴や従来の人間翻訳との比較において、それぞれの利点と欠点について考える。</p> <p>Lesson 18 技術 Technological changes in agriculture 【話題】 農業における技術の変化：農業技術の変化に関するオンラインの動画を聞いて、技術の進化やその利点と欠点、また 20 年後の農業について考える。</p> <p>Lesson 19 SDGs Just knowing about SDGs is enough? 【話題】 SDGs の認識：SDGs の認識と取り組みについて書かれた雑誌記事を読んで、成功のカギや達成するためにできることを考える。</p>	<p>【表現】 目的 (Purposes)：目的を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 ディベート [話すこと (やり取り)]：「機械翻訳は人間の翻訳者にとって替わるだろうか」というテーマについて、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝え合うことを身に付ける。</p> <p>【表現】 例示 (Examples)：例示を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 プレゼンテーション [話すこと (発表)]：「20 年後の農業がどうなっているか」というテーマで発表をするため、農業における新しい技術の利点と欠点について、自分の考えを理由や詳細、具体例などとともに、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを身に付ける。</p> <p>【表現】 情報源 (Source of Information)：情報源を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 スピーチ [話すこと (発表)]：SDGs の成功のカギと達成のためにできることについて議論するため、自分の意見を、理由や具体例などとともに考え、論理的な構成や展開を工夫して話して伝えることを身に付ける。</p>

Lesson 20 SDGs Importance of education 【話題】 教育の重要性：世界の学校教育の現状について話されるクラスメートの発表を聞いて、世界の不就学率の現状や改善点を考える。 【実戦 30 min.】 第4回～第8回 3学期期末試験	【表現】 義務 (Duty and Obligation)：義務を表す表現を理解し、場面や状況、目的に応じた適切な文を組み立てることを学習する。 【論理】 スピーチ [話すこと (発表)]：世界の教育の現状を改善するためにできることについて議論するため、自分の意見を理由や根拠、具体例などとともに考え、論理的な構成や展開を工夫して話して伝え合うことを身に付ける。
【課題・提出物】 ・冬期休業期間中の課題 ・各種テキスト ・小テスト	
【3学期の評価方法】 定期試験素点：80% (1学期中間試験・1学期期末試験・2学期中間試験・2学期期末試験) 平常点：20% (課題提出, 小テスト, 授業態度)	
【年間の学習状況の評価方法】 定期試験素点：80% (定期試験素点の平均点) 平常点：20% (平常点の平均点)	

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	<p>【知識】 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。</p> <p>【技能】 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。</p>	定期試験 小テスト
思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	授業時の様子 課題
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。	授業時の様子 課題

4 学習サポート (事前・事後学習等について)

演習の時間がメインとなります。受験のために大切な時間配分を自分で管理できるように意識して授業に臨みましょう。予習よりも復習を中心に行うと、より定着度があがると思います。受け身な気持ちではなく、自ら学ぶ姿勢を忘れずに学習してください。わからないことがあったら、すぐに質問して解決するように努めましょう。

科 目	単位数	対象学年	対象クラス
情報 I	1	3 学年	I・IIコース

教科書名 高校情報 I JavaScript (実教出版)

副教材名 ポイント整理 情報モラル (数研出版)

1 科目目標

- ①多様なコミュニケーションの実現，情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
- ②様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を養う。
- ③情報と情報技術を適切に活用するとともに，新たな価値の創造を目指し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい
1 学 期	4	▶ ガイダンス ● PC・教室利用について ● PCの個人設定 ● タイピング	・PCの個人設定を行い，利用環境を整える。 ・タイピングソフトの利用の仕方を確認し，タイピングに取り組む。
	5	▶ アルゴリズムとプログラミング JavaScript ● 処理手順 ● いろいろなアルゴリズム	・プログラムの流れを構造的に図示できるフローチャートや処理手順について理解する。 ・JavaScriptプログラミングを行い，動作させることができる。
	6	▶ ネットワークの動作としくみ ● 通信の仕組み ● IPアドレス，ホスト名 ● プロトコル ● インターネットの仕組み ● ドメイン名 ● DNS サーバの役割	・通信に必要な知識や用語を理解し，その仕組みや役割について理解できる。 ・インターネットの仕組みや各種機器の役割を理解し，実際に通信するための情報をネットワークから取得できる。
	7	1 学期期末試験	
【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント，授業ノート 実技演習課題			
【1 学期の評価方法】 ① 学期末試験 50% 1 学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに，タイピングの知識などを見る問題も出題する。			

		② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。 ③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。		
	月	学習内容	学習のねらい	
2 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> ➤ インターネット ● WWW について ● URL の概念 ● Web ページ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web ページが閲覧できる仕組みを知り, Web サイトを表す URL の構造や意味を理解する。 ・ Web ページを便利に利用するため, 検索サイトの構造や使用法について理解する。 ・ インターネットを利用した犯罪や脅威について理解する。 ・ インターネットや情報を安全に利用できるような仕組みについて理解し, 安全な利用法について理解する。 ・ 不正なアクセスやなりすましなどから情報を守るセキュリティ技術について理解し, 安全に情報を管理し利用しようとする意識を持つ。 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報セキュリティ 1 ● 不正アクセス ● ファイアウォール ● コンピュータウィルス ● スパイウェア 		
		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 情報セキュリティ 2 ● 情報の暗号化の仕組み ● 共通鍵暗号方式 ● 公開鍵暗号方式 ● 電子署名, ハイブリッド暗号方式 		
	11	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 表計算ソフト ● 表計算ソフトの基礎 ● 計算式 ● 基本の関数 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く一般に利用されている表計算ソフトの使い方を理解し, 計算式や関数を使用して計算の自動化ができる。
	12	2 学期期末試験		
<p>【課題・提出物】 授業で配布する資料プリント, 授業ノート 実技演習課題</p>				
<p>【2 学期の評価方法】</p> <p>① 学期末試験 50% 2 学期期末試験のみ筆記試験を行う。中間試験は行わない。 知識・理解の確認とともに, タイピングの知識などを見る問題も出題する。</p> <p>② 実習課題等 30% 実習時の演習課題ならびにタイピングの能力を評価する。</p> <p>③ 平常点 20% 課題の提出状況やノートの確認を通して評価する。</p>				
	月	学習内容	学習のねらい	
3 学 期	1	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 表計算ソフト ● いろいろな関数 ● グラフ表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表計算ソフトで使用できる便利な関数について知識を深める。 ・ グラフ作成の技術を身に付ける。 	

【課題・提出物】 実技演習課題
【3学期の評価方法】 1学期と2学期の学期末試験をあわせて評価する。
【年間の学習状況の評価方法】 1学期末と2学期末の成績を統合して評価する。

3 観点別評価内容および評価方法

	観点別評価内容	評価方法
知識・技能	情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ノート ・実技演習課題 ・学習活動の観察
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技演習課題 ・プログラミング ・学習活動の観察
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングテスト ・プログラミング ・授業時の取り組み ・学習活動の観察

4 学習サポート（事前・事後学習等について）

- ・コンピュータリテラシーとしてタイピング技術を身につけ、ブラインドタッチに挑戦しましょう。
- ・実技については、毎時間課題を課します。時間ごとの内容を確認するのでしっかり覚えましょう。

科目	単位数	対象学年	対象クラス
総合的な探究の時間	1	3学年	Ⅱ

1 科目目標

<p>学習指導要領における目標</p> <p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解する。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組み、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>日本大学および 日本大学東北高等学校の教育目標</p> <p>『自主創造』 自主的に学び、考え、広く世界的視野を持つ新しい自分、心豊かな自分を創造すること。</p> <p>※日本大学マインド 多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力 異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。 社会に貢献する姿勢 社会に貢献する姿勢をもち続けることができる。</p>
--	---

踏まえて

踏まえて

<p>本校において定める「総合的な探究の時間」の目標</p> <p>探究が自律的に行なわれるような学習環境の整備に努め、他者と協働的に取り組む中で、新たな価値を見つけ、自己の生き方や社会・職業などについて考え、発展的に自己の進路実現に向かっていくような学習展開がなされることを目標とする。</p>
--

<p>「総合的な探究の時間」において育てようとする資質や能力及び態度</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生徒自身が、これまでの学びを相互に関連付けながら課題を発見し、解決する能力 2 自律的・主体的に学習活動に取り組むことができる資質 3 他者と協働して課題に取り組む態度 4 自己の生き方や社会の諸問題について考え、発展的に自身の進路実現に向かっていく態度

相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的にはたらくようにする。

他教科で身に付けた資質・能力

2 各学年の目標および探究するテーマ

1年次：「自己理解とキャリア探究」 働く意義について考える。探究の基礎を学ぶ。

2年次：「自己啓発」 自ら課題を発見・追究・表現・解決する

興味・関心、身近な疑問に基づくテーマ、地域社会に関するテーマ

3年次：「自己実現」 実体験を通じて社会に学び、社会への共生を図る。

学術的テーマまたは社会問題や企業課題に関するテーマ

3 学習計画及び評価方法

学期	回	月日	活動内容	活動のねらい
	0	4/13(土)	探究オリエンテーション	課題設定
1 学期	1	4/24(水)	探究活動 1-①	情報収集
	2	5/ 8(水)	探究活動 1-②	整理分析
	3	5/15(水)	探究活動 1-③	まとめ
	4	5/29(水)	探究活動 2-①	課題設定
	5	6/ 5(水)	探究活動 2-②	情報収集
	6	6/12(水)	探究活動 2-③	整理分析/プレゼン動画作成
	7	6/19(水)	探究活動 2-④	まとめ表現/プレゼン(表現)
2 学期	8	9/ 4(水)	探究活動 3-①	課題設定
	9	9/11(水)	探究活動 3-②	課題設定
	10	9/18(水)	探究活動 3-③	情報収集
	11	10/ 2(水)	探究活動 3-④	情報収集
	12	10/16(水)	探究活動 3-⑤	整理分析/プレゼン動画作成
	13	10/23(水)	探究活動 3-⑥	整理分析/プレゼン動画作成
	14	10/30(水)	探究活動 3-⑦	まとめ表現/プレゼン(表現)
	15	11/ 6(水)	探究活動 3-⑧	まとめ表現/プレゼン(表現)
	16	11/13(水)	探究活動 4-①	課題設定
	17	11/20(水)	探究活動 4-②	課題設定
	18	11/27(水)	探究活動 4-③	情報収集
	19	12/ 4(水)	探究活動 4-④	情報収集
	20	12/18(水)	探究活動 4-⑤	整理分析/プレゼン動画作成

3-(1) 評価の観点、内容及び評価方法

成果物の出来栄えなど、活動の結果だけを評価するのではなく、過程を評価する。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識および技能を身に付け、課題に関する概念を形成し、探究の意義や価値を理解している。	プレゼンテーションやポスター発表などの表現による評価。
思考・判断・表現	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自ら問いを立て、情報を集め、整理分析して、まとめ・発表している。	討論や質疑の様子などの言語活動の記録による評価。
主体的に学習に取り組む態度	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。	学習や活動の状況などの観察記録による評価。 論文・報告書、レポート、ノート、作品などの制作物による評価。

		評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価。
--	--	------------------------------

3-(2) 評価基準 (ルーブリック)

	十分満足できる(A)	概ね満足できる(B)	努力を要する(C)
知識・技能 知識・技能	必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、既得の知識と関連付けて理解することができる。	必要な知識・技能を書籍や資料等から得て、ある程度理解することができる。	必要な知識・技能を書籍や資料等から得ることができない。得た知識・技能の理解ができない。
課題を発見する力 思考・判断	自分の興味・関心と社会問題を関連付けて、課題を発見することができる。	自分の興味・関心から、または社会問題から課題を発見することができる。	自分の興味・関心、社会について理解が浅く、課題を発見できない。
課題を解決する力 思考・判断	データや情報を適切に収集し、整理・分析することができる。 筋道を立て、論理的な考えを構築できる。	データや情報を適切に収集し、整理・分析する努力ができる。 根拠や論理性に欠けた部分はあるが、自分なりの考えを提示できる。	データ・情報を適切に収集・分析することができない。 データ・情報に基づいた考えを思考することができない。
考えを他者に伝えることができる力 表現	論理的に筋道を立て、分かりやすく、工夫のある発表をすることができる。	論理的に筋道を立て、分かりやすく発表しようとする努力ができる。	発表するための準備が不十分である。
自立的・主体的に学習に取り組む力 主体的に学習に取り組む態度	課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組むことができる。	課題の解決に向けて意欲的に継続して取り組むことができる。	活動に意欲的に取り組むことができない。
他者と協働する力 主体的に学習に取り組む態度	班員と目標を共有し、価値観や意見の異なる人の意見も尊重し協力して活動できる。	班員と協力して活動できる。	班員と協力する姿勢が見られない。